

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	今年度、社会福祉法人格を取得し「社会福祉法人六三四」として新たなスタートを切り、支援の充実に向け職員も一丸となり取り組んでいます
	内容	運営強化5ヶ年計画において平成30年度4月からの社会福祉法人格取得を目指し、全職員で方向性を共有しながら計画的に運営を進め、計画通り平成30年4月1日より社会福祉法人格を取得し「社会福祉法人六三四」として新たなスタートを切り、既存の事業体と新規事業帯の存在意義についてより一層明確にしていく事を今後の課題として取り組むことにしています。社会福祉法人化に伴い職員の意欲も高まっており、入居者のニーズに沿った安心して暮らせる住環境の提供に向け「一丸となり取り組むなど職員間の結束力も高まっています。
2	タイトル	医療とスムーズな連携を図れる体制を築いており、医療と福祉の一体化という地域のモデル形態になるべく活動に率先して取り組んでいます
	内容	医療や介護保険との関わりも増え、事業所の現状だけでなく、業界全体の動向もふまえ、「医療と福祉の一体化」を目指しています。隣接事業所敷地内には、内科、神経内科、リハビリテーション科を有するクリニックが隣接しており、嘱託医、看護師と日常的に連携が取れる体制があります。また併設事業所には言語聴覚士、理学療法士を配置している事で利用者の状態に合わせ必要に応じてリハビリテーションも可能としています。地域のモデル形態になるべく活動に率先して取り組んでおり、医療及びリハビリとの連携強化に力を入れて取り組んでいます。
3	タイトル	夜勤者を2名配置し手厚い人員配置にしている事で、夜間帯における利用者の安全、安心の確保につながっています
	内容	ホームでは、主として夜間において、生活相談、入浴、排せつ、食事の介護等、その他の日常生活上の支援を行っています。夜間においても利用者が安心して職員から介助を受けられるように、さらに利用者が不安に感じた際などにゆっくりとコミュニケーションを図れるように、ホームでは夜勤者を2名配置しています。基準を上回る2名配置により、利用者も夜間安心して過ごせると共に、利用者の状態に変化が生じた際にも職員も不安なく、迅速に対応できる体制となっています。人員配置を手厚くし、夜間の利用者の安全、安心を確保しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画についても整備を進め、災害に備えた対策がより一層強化されることを期待します
	内容	災害に備えた取り組みでは、災害時マニュアルの整備及び事業所全体で避難訓練を定期的に行っています。今後に向けては、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備えての事業継続計画についての整備も期待します。さらに、災害備蓄品について必要数確保できているかの確認のほか、さらに電話回線が不通になった際に家族に対してどのような手段で利用者の安否を伝えていくのかについてもより明確にできると良いと考えます。今後の取り組みを期待します。
2	タイトル	今後に向けてはキャリアパスについても作成し、それと連動する形の個別の育成計画を策定し計画的に職員の育成を図られることを期待します
	内容	職員の知識や技術の向上に向け内外の研修のほか、職員業務評価シートを活用し各職員が上期、下期の目標を記載し、「職員業務評価シート」において業務評価を行っています。業務評価の結果については職員との個別面談を通じてフィードバックを行い、職員は評価の結果を受け今後の目標達成に向けた「アクションプラン」を策定しています。今後に向けては、職員の育成をより計画的に進めていくためにもキャリアパスの策定し、それと連動する形の個別の育成計画が作成できると良いと考えます。職員育成に向けた事業所独自の仕組みづくりを期待します。
3	タイトル	マニュアルに記載している法人名が前法人名が残っているケースも確認できたため、現法人名で統一されることが望まれます
	内容	業務や支援の標準化に向け、各種マニュアルを整備しており、毎年改訂や見直しを重ね各種マニュアルは完成度の高いものになっています。また、常勤会議や職員合同会議などで協議を重ねながら必要なマニュアルを新たに整備し業務や支援の標準化に取り組んでいることは評価できます。今後に向けては細かな個所ではありますが、マニュアルに記載している法人名が前法人名のまま改訂されていないケースも確認できたため、今後の見直しにあたっては新法人名で統一されているかについても確認できると良いと考えます。今後の取り組みを期待します。